

ふるさと「さが」水と土探検支援事業



目的

子どもたちが、身近な農村資源を活用した川遊びや虫とりなどで遊ぶ機会が少なくなり、ふるさとに対する関心や愛着が薄れていることから、身近にある土地改良施設や棚田、歴史的施設等の見学やさまざまな農業体験を通じて、その役割や歴史等を学び、地域環境に対する理解やふるさとへの愛着を深めるような体験学習活動に助成します。

事業の目標

- ・農業、農村の持つ多面的機能への理解
- ・農地や土地改良施設の保全活動に対する理解・支援
- ・ふるさとの良さの再発見と地域コミュニティの構築

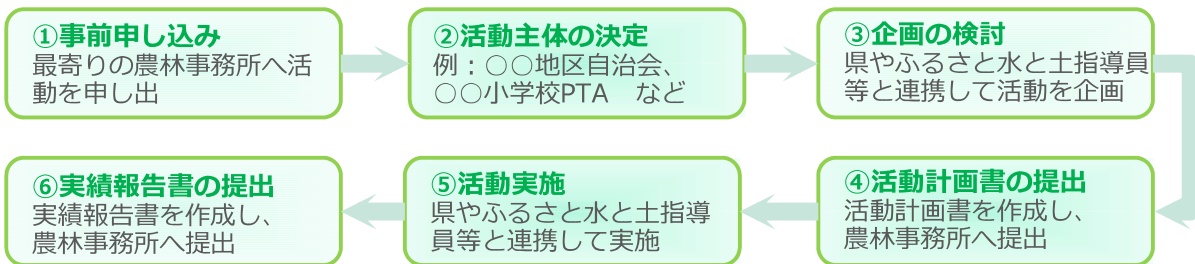


事業の内容

- (1)対象者：小学生の親子
- (2)事業費：30万円まで/1地区（県負担）
（報償費・講師旅費・バス借上費・体験資材費・試食費用（地域食材使用）・保険料など）
- (3)活動主体：各地域のCSO組織及びふるさと水と土指導員等（企画・実施等）
- (4)経理事務：農林事務所（活動経費の調整等）
- (5)活動内容：(例) 田植え等の農業体験、農業用水路の探検、土地改良施設の見学など
- (6)活動体制：各地域のCSO組織やふるさと水と土指導員等が中心になり企画立案等を行い、行政、学校等が活動に対し支援する。

活動の手順

本事業の取り組みにあたっては、おおむね次のような手順となります。



実施事例

（令和2年度（2020年度）は16地区で実施）



小城市 岩松地区
（野菜栽培体験）
野菜栽培体験、ふるさと史跡探訪、魚・昆虫・草木の生き物調査等



神崎市 脊振地区
（田植え体験）
野菜栽培体験、稲作体験、生き物調査、竹細工体験、さしみこんにやく作り体験等



嬉野市 大草野地区
（蜚の放流）
蜚鑑賞、蜚の幼虫放流、稲作体験、地元の水と農業の歴史学習、案山子作り、しめ縄づくり等

※土地改良施設とは：農業用の用水路や排水路、ダム、ため池、農道、農地の保全のための施設をいいます。
 ※CSOとは：NPO法人、市民活動・ボランティア団体、子供クラブ、地域活動組織といった組織・団体の総称です。